

道野辺の郷から

今こそ大切にしたいこと

校長 関根 延年

12月末、北陸から新潟、東北にかけて大雪が降り、関東も空風が吹き寒くなりました。冬到来です。ついこの前の12月に入ったころまでは寒くなく、会う人会う人との挨拶で「昨今、秋がないですね。」などと話していたことを思い出します。

昨年度の1月の学校便りに「1年の計は元旦にあり」のいわれについて少し書かせていただきましたが、元々、自分は理科の教員であり、食いしん坊なもので日本の四季折々の旬の食べ物に目がなく、季節感やその折々の日本人が残してきた文化、先人の知恵などに興味を持ち、日本は素晴らしいと思っています。

さて、今、第二中学校を取り巻く環境は学区内を含め、四季を感じる事ができる場所が大変少なくなりました。当然、それに伴う日本人ならではの文化、風習も薄れてきています。環境破壊による気候変動が話題となることも増えてきましたが、わずか7、8年前に勤務していた田んぼや森に囲まれていた学校では、四季どころか二十四節気、七十二候を体感することができ、それに伴う生活に根付いた習慣も見ることができました。また、江戸時代の日本はゴミのない世界有数の完全リサイクル社会を構築していたと言われていました。

環境問題だけの話ではないのですが、子どもたちには「自然の恵みや四季折々すばらしさ」「良い環境とは何か」「それに伴う先人たちの知恵」など、日本人としての素晴らしさ、心の豊かさなど後世に伝えるべきものはしっかりと伝え、頭だけではなく、体感を伴い、自分で考えて、自分の意見を持ち、行動できる人に成長してほしいと願っています。

主な行事予定

【活動終了】 16:30

【最終下校】 16:45



1日(水) 元日

6日(月) 始業式

7日(火) 避難訓練

部活動再登校

8日(水) 3年実力テスト①

弁当持参

9日(木) 3年実力テスト②

給食開始

13日(月) 祝・成人の日

16日(木) 拡大中央委員会

17日(金) 千葉県私立入試開始

3年4時間授業

20日(月) 諸活動停止日

21日(火) 全校委員会

23日(木) 葛南新人駅伝大会

24日(金) 3年4時間授業(公立高校とりまとめ)

27日(月) 諸活動停止日

28日(火) 子ども議会

30日(木) 1年校外学習

公立高校とりまとめ

文化部門での活躍

二中では授業の一環として各種コンクール等に挑戦し、たくさんの生徒が多くの賞を受賞しています。様々な面で力を発揮している生徒を紹介します。

○税の標語

教育長賞：岡村琴未 優秀作金賞：長山開 優秀作銅賞：川口芽依
佳作：小川和馬・跡田都王

○中学生作文コンクール

都道府県別賞千葉県佳作：島本琉聖・田中聖矢

○千葉県青少年読書感想文コンクール

課題読書の部優秀賞：中山碧 自由読書の部最優秀賞：芳賀百花

令和6年度学校評価について

※調査人数 生徒 555名

保護者 243名

保護者の皆様からいただいたアンケートの集計を行いました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。アンケートからいただいた回答及びご意見を基に、考察をしました。

回答の平均・評価（数値が小さいほど高評価）	生徒				保護者			
	R6		R5		R6		R5	
	評価	平均	評価	平均	評価	平均	評価	平均
Q1 お子さん（自分）は楽しく登校している	B+	1.9	B+	1.7	B+	1.7	B+	1.6
Q2 お子さん（自分）の学力（意欲・知識・技能等）は昨年と比べ向上したと感じる	B+	2.0	B	2.1	B	2.3	B	2.3
Q3 お子さん（自分）は主体的に授業に取り組んでいる	B+	2.0	B+	1.8	B+	2.0	B+	1.9
Q4 お子さん（自分）は宿題や家庭学習に取り組んでいる	B+	2.0	B+	1.9	B	2.4	B+	1.9
Q5 授業がわかりやすい（おさんはわかりやすいと感じている）	B+	1.7	B+	1.6	B+	2.0	B	2.3
Q6 二中の様子がよくわかる（各種たより、HP等）	/	/	/	/	B	2.2	B+	2.0
Q7 授業参観に参加しやすい	/	/	/	/	B+	1.8	B+	1.8
Q8 （生徒）先生方は生徒のことをよく理解してくれていると思う （保護者）教師は生徒のことをよく理解し、適切に対応している	B+	2.0	B+	1.8	/	/	/	/
Q9 （生徒）先生は思いやりや心を育むことを行っている （保護者）二中は思いやりや心を育むことを行っている	B+	1.9	B+	1.7	/	/	/	/
Q10 （生徒）先生は生徒の悩みや相談に応じてくれる （保護者）二中や教職員の対応に満足している	B+	1.8	B+	1.6	/	/	/	/
Q11 二中はいじめなどない安心できる学校（学級）づくりに取り組んでいる	B+	2.0	B+	1.7	B	2.1	B+	2.0
Q12 二中は将来の進路や職業に対し、適切な指導を行っている	B+	1.8	B+	1.7	B	2.2	B	2.2
Q13 二中は特色ある教育活動（行事等）を行っている	B+	2.0	B+	1.8	B	2.2	B	2.3
Q14 二中の施設について満足している	B	2.4	B	2.1	C+	2.9	C+	2.8
Q15 二中にあるイス・音楽備品・技術家庭が備品・美術備品・体育備品などが充実している	B	2.1	B+	1.9	B	2.3	B	2.2
Q16 二中は特別支援教育を適切に行っている	/	/	/	/	B+	2.0	B+	1.8
Q17 二中は部活動に積極的に取り組んでいる	/	/	/	/	B+	2.0	B+	1.8
※回答 1：そう思う 2：ややそう思う 3：あまり思わない 4：思わない ※評価基準 A：1～1.5 B+：1.6～2 B：2.1～2.5 C+：2.6～3 C：3.1以上								

【考察1】－保護者評価－

今年度の数値を昨年度と比較すると、昨年度より厳しい評価をいただいた部分については真摯に受け止めます。職員一人ひとりが生徒に寄り添い、ともに問題を解決していくことが生徒が安心して楽しく生活を送ることにつながりますので、生徒のことを第一に考えた授業づくりや学級づくりを、今まで以上に力を入れて取り組んでいきます。また、学校の施設・設備面においては引き続き厳しい評価となりました。実際は改善しているところも多く、体育館のエアコン設置も予定されているのですが、広報が足りていなかったようです。

良かった点として、全ての項目の中で「楽しく登校している」が昨年度同様評価が高かったことが挙げられます。中学生にとって学校は、多感な3年間の一日の大半を過ごす場であるため、楽しく通えることは何よりも大切なことです。次年度以降も同様の評価をいただけるよう、引き続き努力してまいります。また、「授業参観に参加しやすい」という項目も引き続き高い評価をいただいています。これからも風通しの良い学校運営を心がけてまいりますので、今までと変わらずご支援頂けたらと思います。

【考察2】－生徒評価－

今年度も多くの項目で2.0以下の評価を得ました。この評価に甘んじることなく日頃から研鑽をし、より生徒との関係を構築していきます。

しかし、授業はわかりやすいという項目の評価に対して、自分の学力は向上したという項目の評価が伴っていないことから、自己肯定感の向上と復習のあり方に課題があることが考えられます。教師側の授業改善を図るとともに、学力とは点数だけではなく自己の成長を少しでも感じることで自信を持たせられるよう指導をしていきます。自己肯定感の高まりが進んで学習意欲の向上につながりますので、これからも前向きな生徒の育成に力を注いでまいります。